

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-56781

(P2011-56781A)

(43) 公開日 平成23年3月24日(2011.3.24)

(51) Int.Cl.		F I		テーマコード (参考)
B 4 2 D	1/08	(2006.01)	B 4 2 D 1/08	L
B 4 2 D	3/00	(2006.01)	B 4 2 D 3/00	B

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2009-208722 (P2009-208722)	(71) 出願人	000002897
(22) 出願日	平成21年9月9日(2009.9.9)		大日本印刷株式会社
			東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
		(74) 代理人	110000958
			特許業務法人 インテクト国際特許事務所
		(74) 代理人	100083839
			弁理士 石川 泰男
		(74) 代理人	100120189
			弁理士 奥 和幸
		(72) 発明者	塚崎 雅也
			東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
			大日本印刷株式会社内

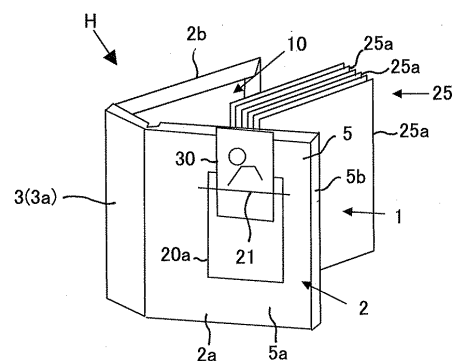
(54) 【発明の名称】 冊子、及びその表紙

(57) 【要約】

【課題】構造がシンプルであって製造し易く、且つ交換可能な画像シートを表紙の一部として用いることが可能な冊子及びその冊子を包むための表紙を提供する。

【解決手段】表紙1は、背部3と、当該背部3の両端部に折り曲げ可能に設けられた表部2と、を備える表紙1において、一部に透明領域20aを有するシート5と、前記表部2に対応する前記シート5の領域の裏面、及び前記背部3に対応する前記シート5の領域の裏面に貼着される基材10と、を具備し、当該基材10には、前記透明領域20aの裏側に配置される窪み15が形成され、当該シート5には、画像が描写された画像シート30を当該窪み15に外部から挿脱可能なスリット21が形成されている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

背部と、当該背部の両端部に折り曲げ可能に設けられた表部と、を備える表紙において、

一部に透明領域を有するシートと、

前記表部に対応する前記シートの領域の裏面、及び前記背部に対応する前記シートの領域の裏面に貼着される基材と、を具備し、

当該基材には、前記透明領域の裏側に配置される窪みが形成され、

当該シートには、画像が描写された画像シートを当該窪みに外部から挿脱可能なスリットが形成されていることを特徴とする表紙。

10

【請求項 2】

前記基材の周縁は、前記シートの周縁部を折り返すことによって覆われていることを特徴とする請求項 1 に記載の表紙。

【請求項 3】

背部と、当該背部の両端部に折り曲げ可能に設けられた表部と、を備える表紙と、当該表紙内に取り付けられる本紙と、を備える冊子において、

前記表紙は、

一部に透明領域を有するシートと、

前記表部に対応する前記シートの領域の裏面、及び前記背部に対応する前記シートの領域の裏面に貼着される基材と、を具備し、

当該基材には、前記透明領域の裏側に配置される窪みが形成され、

当該シートには、画像が描写された画像シートを当該窪みに外部から挿脱可能なスリットが形成されていることを特徴とする冊子。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、アルバム等の冊子及びその冊子を包む表紙に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、デジタル印刷機の普及により、写真紙を冊子状に製本したアルバムが多く存在する。この種のアルバムとして、例えば、表紙に設けた透視窓を介して写真等を外観し得るように構成したアルバムが知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

30

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開平 11-301139 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

特許文献 1 に示すアルバムは、表紙に透視可能な窓を設け、その窓の裏面に写真等を挿入するとともに当該窓側に押さえ込む扉を備えており、その構造が複雑であるとともに、表紙だけ厚みを有するため、表紙と裏表紙とのバランスが悪く、見た目が悪い印象がある。

40

【0005】

本発明は、このような問題の解消を一つの課題とし、その目的の一例は、構造がシンプルであって製造し易く、且つ交換可能な画像シートを表紙の一部として用いることが可能な冊子及びその冊子を包むための表紙を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載の表紙（1）は、背部（3）と、当該背部の

50

両端部に折り曲げ可能に設けられた表部（２）と、を備える表紙において、一部に透明領域（２０ａ）を有するシート（５）と、前記表部に対応する前記シートの領域の裏面、及び前記背部に対応する前記シートの領域の裏面に貼着される基材（１０）と、を具備し、当該基材には、前記透明領域の裏側に配置される窪み（１５）が形成され、当該シートには、画像が描写された画像シート（３０）を当該窪みに外部から挿脱可能なスリット（２１）が形成されていることを特徴とする。

【０００７】

この発明によれば、画像シートを窪みに挿入したときに、この画像シートに描写されている画像が透明領域を通して外部から視認可能となる。また、画像シートは、当該スリットから交換が可能となっており、ユーザが好みの写真紙を入れ替えることができる。

10

【０００８】

また、請求項２に記載の表紙は、請求項１に記載の表紙において、前記基材の周縁は、前記シートの周縁部（５ｂ）を折り返すことによって覆われていることを特徴とする。

【０００９】

この発明によれば、基材の周縁がシートの周縁部によって覆われるため、表紙としての見栄えを良くすることができる。

【００１０】

また、請求項３に記載の冊子（Ｈ）は、背部と、当該背部の両端部に折り曲げ可能に設けられた表部と、を備える表紙と、当該表紙内に取り付けられる本紙（２５）と、を備える冊子において、前記表紙は、一部に透明領域を有するシートと、前記表部に対応する前記シートの領域の裏面、及び前記背部に対応する前記シートの領域の裏面に貼着される基材と、を具備し、当該基材には、前記透明領域の裏側に配置される窪みが形成され、当該シートには、画像が描写された画像シートを当該窪みに外部から挿脱可能なスリットが形成されていることを特徴とする。

20

【００１１】

この発明によれば、画像シートを窪みに挿入したときに、この画像シートに描写されている画像が透明領域を通して外部から視認可能となる。また、画像シートは、当該スリットから交換が可能となっており、ユーザが好みの写真紙を入れ替えることができる。

【発明の効果】

【００１２】

本発明によれば、ユーザが好む写真紙を表紙として用いることが可能な表紙、及び冊子をユーザに提供することができる。また、構造がシンプルな表紙、及び冊子を容易に製造することができる。

30

【図面の簡単な説明】

【００１３】

【図１】冊子の外観を示す斜視図である。

【図２】表紙の正面図である。

【図３】表紙の構成を示す図である。

【図４】表紙の製造工程を説明するための図である。

【図５】厚紙の他の構成例を示す図である。

40

【発明を実施するための形態】

【００１４】

以下、本発明の望ましい形態について図面に基づいて説明する。

【００１５】

図１乃至図３に示すように、冊子Ｈは、本願の表紙として機能する平面が略矩形状の表紙本体１を備え、この表紙本体１の内側には、例えば、写真紙などが保持された本紙２５が取り付けられる。本紙２５は、印画紙又はこれに類する枚葉紙２５ａが複数枚重ねあわされ、その重ねあわされたものの一辺が綴じられることによって構成される。枚葉紙２５ａの綴じ方式としては、例えば、中綴じ、平綴じなどを採用することができ、糸で綴じたり、金具で綴じたり、ホットメルトで綴じたりすることができる。

50

【0016】

なお、表紙本体1に本紙25を取り付ける構造は、一般にアルバムやフォトブックなどと称されるものと同じ構造を有し、従来から周知であるためここではその説明を省略するものとする。

【0017】

表紙本体1は、表表紙2aと裏表紙2bで構成される表部2と、この表表紙2aと裏表紙2bとの間において当該表表紙2aと裏表紙2bとを連結する背表紙3aで構成される背部3と、を備えている。この背部3は、表紙本体1における略中央部において、幅方向（表紙本体1の高さ方向に直交する方向）に所定の背幅を有している。この背幅は、表紙本体1内に挿入される本紙25の厚みと略等しい（または、表裏表紙2a、2bの厚みを加算した厚さ）長さを有する。また、当該表表紙2aと裏表紙2bは、背表紙3aと連結している部分において開閉自在に折り曲げることができる。

10

【0018】

この表紙本体1は、図1乃至図3に示すように、略矩形状のシート5と、表表紙2a及び裏表紙2bに対応するシート5の領域の裏面及び背表紙3aに対応するシート5の領域の裏面に貼着される本願の基材としての厚紙10と、を備えている。

【0019】

このシート5は、表部2及び背部3として規定される領域（図3の点線で区画された領域）を有する本体部5aと、前記厚紙10を覆うための周縁部5bと、を有している。このシート5は、四隅が斜めにカットされて形成されており、その周縁部5bが厚紙10の形状に沿って折り返されて当該厚紙10の周縁をくるむようにして当該厚紙10及びシート5の裏面に接着剤により貼着される。

20

【0020】

シート5は、表表紙5aの略中央部に透視可能な略矩形状の透明領域20aを有し、たとえば柔軟性（伸縮性）を有するポリプロピレン製のシートなど合成樹脂製のシートが用いられる。

【0021】

この透明領域20aには上部に水平方向に延びるスリット21が形成されている。このスリット21は、画像が描写された画像シート30を挿入するためのもので、当該画像シート30が挿脱可能に挿入できる程度の幅を有している。

30

【0022】

なお、この画像シート30には、一般的に銀塩写真紙や昇華転写紙と称される紙材が好適に用いられる。

【0023】

厚紙10は、ボール紙を複数重ね、その隣り合う各ボール紙を貼り合わせて形成される。この厚紙10は、図2及び図3に示すように、表表紙2a、裏表紙2b、背表紙3aとほぼ同じ大きさ又は少し小さな大きさを有する3つの厚紙ブロック4a～4cを備えており、それぞれの厚紙ブロック4a～4cが表表紙2a、裏表紙2b、背表紙3aに対応するシート5の裏面に接着剤により貼着される。

【0024】

表表紙2aに対応する厚紙ブロック4aには、画像シート30を内包する窪み15が形成されている。当該窪み15は、例えば、ミーリング加工等により切削されて形成され、前記シート5に有する透明領域20aに対応して形成され、具体的には透明領域20aの裏側に形成される。当該窪み15は透明領域よりも大きい面積を有しており、一般的な写真紙の厚さと同程度又はやや深い深さで形成される。

40

【0025】

以上に説明したように冊子Hの表紙本体1は、一部に透明領域20aを有するシート5と、そのシート5の裏面に貼り付けられる厚紙10と、を備え、当該厚紙10には、透明領域20aの裏側に配置される窪み15が形成され、当該シート5には、画像シート30を当該窪み15に外部から挿脱可能なスリット21が形成されている。また、厚紙10の

50

周縁は、シート 5 の周縁部 5 a を折り返すことによって覆われる。

【0026】

よって、画像シート 30 を窪み 15 に挿入したときに、この画像シート 30 に描写されている画像が透明領域 20 a を通して外部から視認可能となる。また、画像シート 30 は、当該スリット 21 から交換が可能となっており、ユーザが好みの写真紙を入れ替えることができる。

【0027】

なお、当該表紙本体 1 に本紙 25 を取り付けすることで、一般的にアルバムやフォトブックと称される冊子 H として構成される。

【0028】

次に、本実施形態の表紙本体 1 の製造方法の一例について説明する。

【0029】

(1) まず、一部に透明領域 20 a を有するシート 5 と、表部 2 に対応するシート 5 の領域の裏面及び背部 3 に対応するシート 5 の領域の裏面に貼着される厚紙ブロック 4 a ~ 4 c を用意する。なお、厚紙ブロック 4 a には、予め窪み 15 (図 3 参照) を切削加工などにより形成しておく。

【0030】

(2) 次に、図 4 (a) に示すように、切削装置 50 を用いてシート 5 の四隅を斜めにカットするとともに、シート 5 に画像シートを挿入するためのスリット 21 を形成する。

【0031】

(3) 次に、図 4 (b) に示すように、糊貼着装置 41 により、透明領域 20 a を除いたシート 5 の裏面に糊を塗布し、シート 5 の裏面の所定領域 (表部 2、背部 3 に対応するそれぞれの領域) に 3 つの厚紙ブロック 4 a ~ 4 c を重ねて、対向配置されたローラ装置 42 などを用いて圧着する。

【0032】

(4) 次に、図 4 (c) に示すように、ローラを備えた折り畳み装置 43 を用いて、シート 5 の上下周縁部 (5 b) を厚紙 10 の形状に沿って折り返しつつ圧着するとともに、図 4 (d) に示すように、ローラを備えた折り畳み装置 43 を用いて、シート 5 の左右周縁部 (5 b) を厚紙 10 の形状に沿って折り返しつつ圧着して、表紙本体 1 を製造する。

【0033】

このように本実施形態の表紙本体 1 は、窪み 15 が形成された厚紙 10 をスリットが形成されたシートで覆うだけで製造することができる。よって、構造がシンプルな表紙本体 1 を容易に製造することができる。

【0034】

なお、本発明は上記実施の形態に限定されるものではなく、本発明の要旨の範囲内で種々変更可能である。例えば、本実施形態の図 4 の説明では上下折り曲げ片を折り畳んだ後に左右折り曲げ片を折り畳むようになっているが、この折り畳み方はどちらの折り曲げ片が先でも構わない。また、本実施形態のフィルムは折り畳みやすいように隅部をカットしているが、略矩形状であっても勿論構わない。

【0035】

また、本実施形態のシート 5 に有する透明領域 20 a は、矩形状であるが、その他の形状 (例えば、円形状、多角形状など) とすることも可能である。この透明領域が形成される位置も、表紙部の中央の他、周縁側に偏った位置などに設けることも可能である。さらに、当該透明領域は、表表紙の他、裏表紙にも形成しても構わない。また、この透明領域は、表表紙に複数有していても構わない。

【0036】

また、本実施形態では、透明領域 20 a の上部にスリット 21 を形成しているが、シートの周縁部 5 b の上面にスリット 21 を形成し、窪み 15 へと画像シート 30 を挿脱可能にしても構わない。

【0037】

10

20

30

40

50

さらに本実施形態の厚紙 10 は、ボール紙を重ね合わせたものが用いられるが、アクリル樹脂または塩ビ製プレートなどを用いても良い。また、本実施形態では、窪み 15 を削るような形態で形成しているが、図 5 に示すように、厚紙ブロック 4 a を、窪み 15 として機能する凹状の開口を有するボール紙 4 d と、前記凹状部分を塞ぐように形成された矩形状のボール紙 4 e と、を貼り合わせて形成しても構わない。

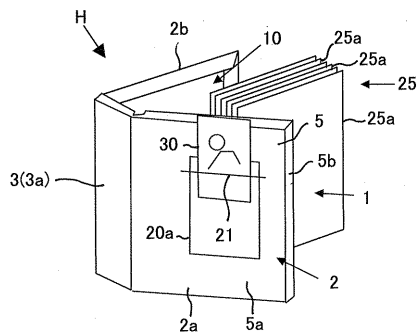
【符号の説明】

【0038】

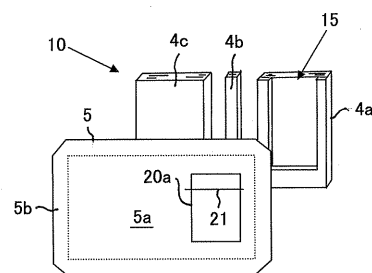
- H 冊子
- 1 表紙本体
- 2 表部
- 3 背部
- 5 シート
- 5 b 周縁部
- 10 厚紙
- 15 窪み
- 20 a 透明領域
- 21 スリット
- 25 本紙
- 30 画像シート

10

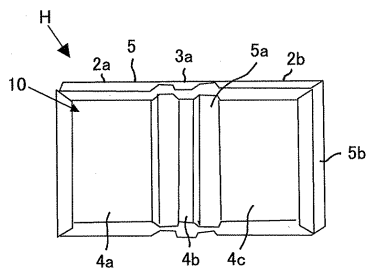
【図 1】



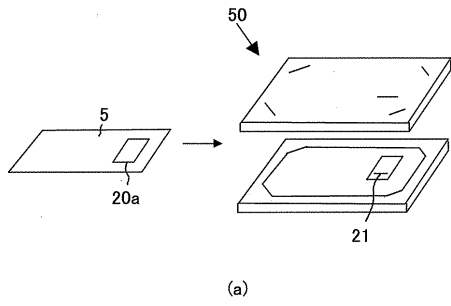
【図 3】



【図 2】



【図 4】



【図 5】

